



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会および期末配当については毎年3月31日 中間配当および株主優待については毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故・その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
(公告掲載アドレス)	http://www.takano-net.co.jp/ir/index.html

【株式に関するお手続きについて】

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
● 特別口座から一般口座への振替請求 ● 単元未満株式の買取請求 ● 氏名・住所等の変更 ● 特別口座の残高照会 ● 配当金の受領方法の指定(※)	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問い合わせ		[手続き書類のご請求方法] ○電話によるご請求 0120-232-711 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufig.jp/daikou/

(※) 特別口座に記録された株式をご所有の株主さまは配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
● 上記以外のお手続き、ご照会等		口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

NAGANO trend 35

鹿教湯温泉 氷灯ろう夢祈願

当社本社所在地である長野県にある鹿教湯温泉では、毎冬「鹿教湯温泉 氷灯ろう夢祈願」が開催されます。温泉街から湯端通りを抜け、現世と神の世界を結ぶと言われている五台橋、文殊堂へ続く46段の階段から薬師堂周辺までおよそ200個の氷の灯ろうが並び、やわらかい光が冬の夜を美しく彩ります。点火式には一般客も参加でき、願いごとをしながら火を灯すと願いが叶うと言われています。

効能豊かな鹿教湯温泉は、約1,200年の歴史があり古くから湯治場として知られてきました。「名湯百選」の第一号認定地で、国民保養温泉地（環境庁指定）のひとつにもなっています。

機会がありましたらぜひ、雪のなかにゆらめく幻想的な氷灯ろうと歴史ある温泉を楽しんでみてください。



証券コード：7885

タカノ通信 Vol.46



©Snowman Enterprises Ltd. 2018 Licensed by Plazastyle Co., Ltd.

第66期 中間報告書
2018年4月1日から2018年9月30日まで



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。
今般の度重なる自然災害により被災された方々には、衷心よりお見舞い申しあげます。みなさまの安全と、被災地の一日も早い復興をお祈り申しあげます。
当社の第66期第2四半期累計期間の業績ならびに通期の見通しについて、次のとおりご報告させていただきます。

第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用および所得環境の改善等を背景に景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、米中貿易摩擦が激しさを増しており、今後の通商問題の動向によっては世界経済の下振れが懸念される等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。
このような環境のもとで、当社グループは中期経営計画「Innovation 68」の達成に向け、計画の3年目にあたる当期は、計画の基本方針である「構造改革とプロセス改革を進め、稼ぐ力を取り戻し、次の成長路線を構築する」の実現を図るべく、各施策の

確実な実行による事業構造・収益構造の変革への取り組みを行ってまいりました。
具体的には、2018年7月31日に株式会社トプコンおよびその子会社である株式会社トプコンテクノハウスより、半導体関連分野にかかる事業を譲り受けた他、製造ラインへのロボットやIoTを活用したシステムの導入や間接部門を中心とした合理化プロジェクトの推進等、生産性向上および合理化のための活動を推進してまいりました。
この結果、主に検査計測機器事業および機械・工具事業の販売増加により、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,967百万円で、前年同四半期比1,602百万円（17.1％）の増収となりました。
利益面につきましては、材料価格高騰の影響はあったものの、販売の拡大による粗利益額の増加により、営業利益359百万円（前年同四半期比58百万円、19.5％の増益）、経常利益445百万円（前年同四半期比94百万円、26.9％の増益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益に投資有価証券売却益86百万円を計上したこと等により、389百万円（前年同四半期比142百万円、57.6％の増益）となりました。



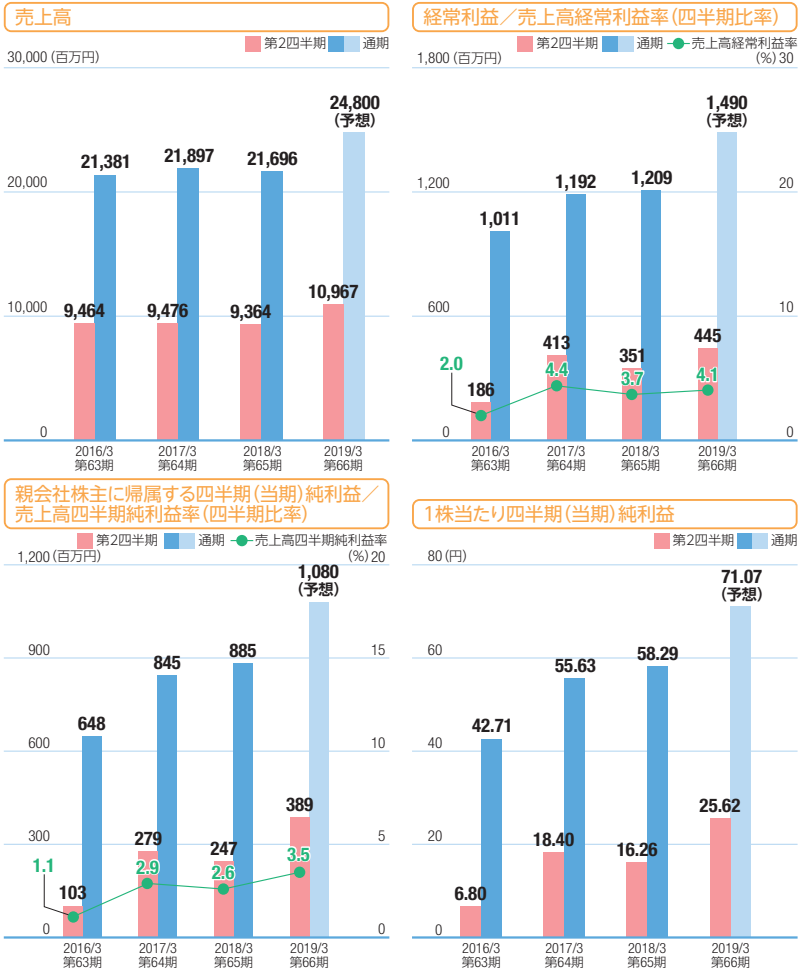
代表取締役社長
鷹野 準



To Our Shareholders

通期の見通し

通期の見通しにつきましては、引き続き、米国と各国との貿易摩擦による経済への影響等により、先行きは依然として不透明な状況が続くものの、個人消費および企業の堅調な設備投資により、引き続き景気は緩やかに回復していくものと思われます。
このような環境のもとで、当社グループは引き続き中期経営計画「Innovation 68」に定める目標の達成に向けて、重点的かつ積極的な経営資源の投入により施策実行スピードを向上させてまいります。
なお、通期の業績予想につきましては、現時点で、本年5月8日に公表いたしました予想と変更はなく、右の表のとおりとなっております。



通期業績の見通し

	連 結	単 体
売 上 高	24,800百万円 (前期比14.3%増)	21,500百万円 (前期比11.1%増)
経 常 利 益	1,490百万円	1,300百万円
当期純利益	1,080百万円	960百万円

※上記表の「当期純利益」は親会社に帰属する当期純利益を表示しております。



特集 中期経営計画 半導体関連分野への取組みについて

タカノにおける中期経営計画「Innovation 68」の重点施策である「新分野・成長分野開拓－半導体関連電子デバイス検査事業の拡大－」および「M&A・事業提携等を通じた成長の実現」への取組みについてご説明いたします。

タカノでは中期経営計画「Innovation 68」の達成に向け、計画の基本方針である「構造改革とプロセス改革を進め、稼ぐ力を取り戻し、次の成長路線を構築する」を掲げ、さらなる事業基盤の拡充を図るべく、各施策の目標達成に向けて取り組んでおります。

重点施策のひとつである、新分野・成長分野開拓におきましても、新事業を拡大し事業構造改革を行うべく、重点市場領域を定め着実な取組みを行っております。

具体的な取組みとして、当社主力事業のひとつである検査計測機器事業において、自動車関連業界向けおよび電池部材向け検査装置、半導体関連電子デバイス検査装置の事業拡大に向けて研究開発を推進しております。

また、変化が著しい経済環境において、経営戦略を適宜環境に対応させていく力が必要であるとの考えから、スピードを持った事業構造改革を推進するべく、ノウハウや技術力および成長性の向上を目的としてM&Aに関する投資も行っております。

次のページでは、これら戦略の具体化に向けての活動についてご紹介いたします。

■中期経営計画基本方針

「構造改革とプロセス改革を進め、稼ぐ力を取り戻し、次の成長路線を構築する」

■中期経営計画重点施策（抜粋）

「新分野・成長分野開拓の道筋をつける。」

- 医療機器関連分野での積極投資、事業化加速（診療空間・治療空間向け機器関連、医療関連機器向けパーツ等）
- 海外事業の拡大による事業成長
- センサ関連事業の事業化（組込型圧力測定センサの拡大（医療・健康・スポーツ・ロボット等向け））
- 半導体関連電子デバイス検査事業の拡大
- AI（人工知能）を活用した検査装置の高度化

「M&A・事業提携等を通じた成長の実現を図る。」

- 新規分野・成長分野に向けてM&A投資を積極化



特集 半導体等関連分野の事業譲受について

1. 半導体等関連分野にかかる外観検査装置（Vi）事業譲受について

タカノでは、当社主力製品であるFPD外観検査装置分野に加え、半導体等関連検査装置分野を強化するべきマーケットと定め、開発・営業等の事業展開を図っております。

これら半導体等関連検査装置分野の事業基盤強化にあたり、同分野での開発体制・販売体制（販売ルート）のさらなる拡充が必要と考え、2017年11月1日、株式会社トプコングループの半導体関連分野にかかる外観検査装置（Vi）事業の譲受を行いました。



2. 半導体ウェーハ表面検査装置（WM）事業譲受について

タカノでは、前述の半導体等関連分野にかかる外観検査装置（Vi）事業譲受に引き続き、さらなる商品ラインナップの拡充と開発体制の強化を目的に、2018年7月31日、株式会社トプコングループの半導体ウェーハ表面検査装置（WM）事業の譲受を行いました。

また、これにあわせて株式会社トプコングループの半導体等の分野に関連するプロキシミティ露光装置（TME）事業の譲受を行いました。



今後開始される予定である新たな次世代通信や、IoTにおける技術革新等により、同分野の需要はますます重層的な広がりをみせると考えられております。当社といたしましても、事業拡大および中期経営計画達成に向けて同分野に注力し、さらなる事業強化・収益向上を図ってまいります。



ヘルスケア部門

－LAPS Kids－ キッズデザイン賞受賞

この度、タカノの新商品「LAPS Kids」が、第12回キッズデザイン賞を受賞しました。キッズデザイン賞とは、子どもや子どもの産み育てに配慮した、すべての製品、空間、サービス、活動、研究を対象とする表彰制度であり、当社は「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」部門においての受賞となりました。

「LAPS Kids」は、軽度の身体障がいや発達障がい等により、長時間座ることが苦手なお子さまの姿勢を安定させ、集中力を持続させることを目的としています。学校・施設の学童いすや家庭のいすに簡単に取り付けられ、腰まわりの全面保持、また骨盤周辺を支えることにより安定した座位をサポートします。

本年10月10～12日、東京ビッグサイトで開催された福祉機器展示会「H.C.R.2018」に出展した際には、多くのお客さまにご来場いただき「持ち運びができ、外出先で使えるのがよい」「購入を検討したい」などのありがたいお言葉をいただきました。一方で、今後の商品開発の課題となるご意見も頂戴しました。

今後もお客さまの目線に立ち、真のニーズを捉え積極的な商品開発に努めてまいります。



LAPS Kids



「H.C.R.2018」での展示風景

Close Up



ヘルスケア部門

「コンバーES」 発売開始

タカノでは、かねてより医療福祉機器関連分野に着目し、さまざまな製品開発を進めてまいりましたが、この度、当社の主力製品のひとつである検査・診察台「コンバー」のシリーズ展開として「コンバーES」を開発し、本年11月1日より販売を開始しました。

現在医療現場では、現代社会の課題のひとつである高齢化社会の加速、またがん検診の増加が予測されるなか、医師や看護師への負担増加が考えられるため検査の効率性が重視されています。

「コンバーES」は増加するがん検診、特に内視鏡検査における患者および医師・看護師への負担軽減、また患者への安全性を考慮し、より効率的な検査を提供します。

本年11月2～3日に開催された「第81回 日本消化器内視鏡技師学会」に出展した際には、多くの医療従事者の方と接する機会をもつことができ、「採用を考えている」「興味があるため試用を希望する」などのお言葉をいただくとともに、今後の開発のテーマとなるような貴重なご意見を頂戴しました。

タカノでは、この新製品の販売促進活動に尽力し、また加速する社会の変化に対応するべくこの分野への取組みをいっそう強化してまいります。



「日本消化器内視鏡技師学会」での展示風景



コンバーES

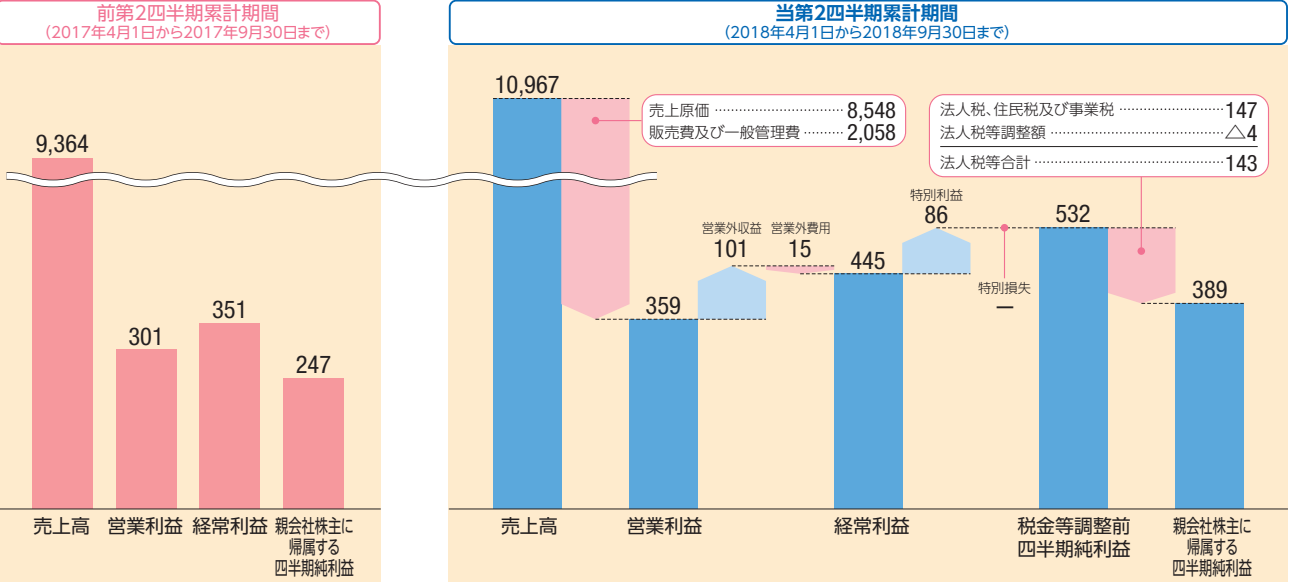
Close Up



四半期連結決算概要(要旨)

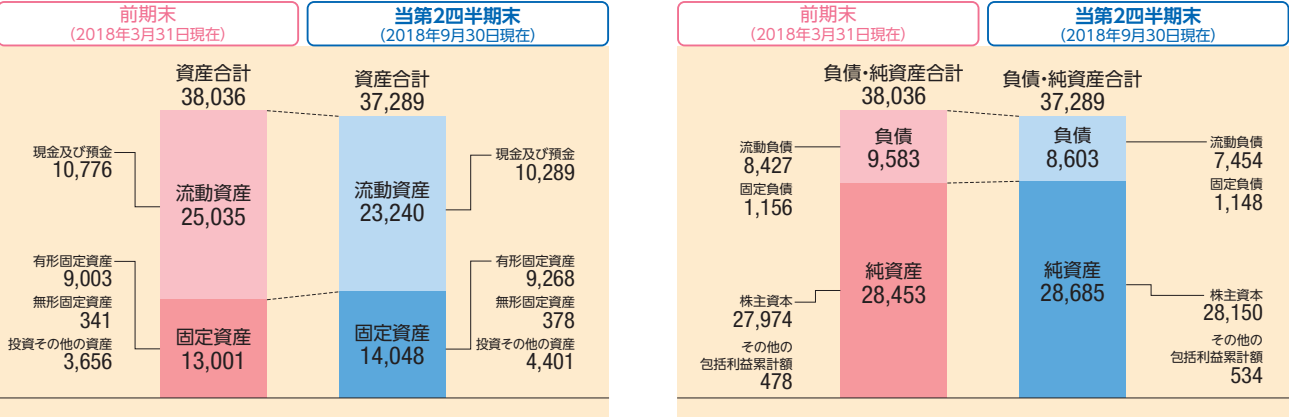
連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



連結貸借対照表の概要

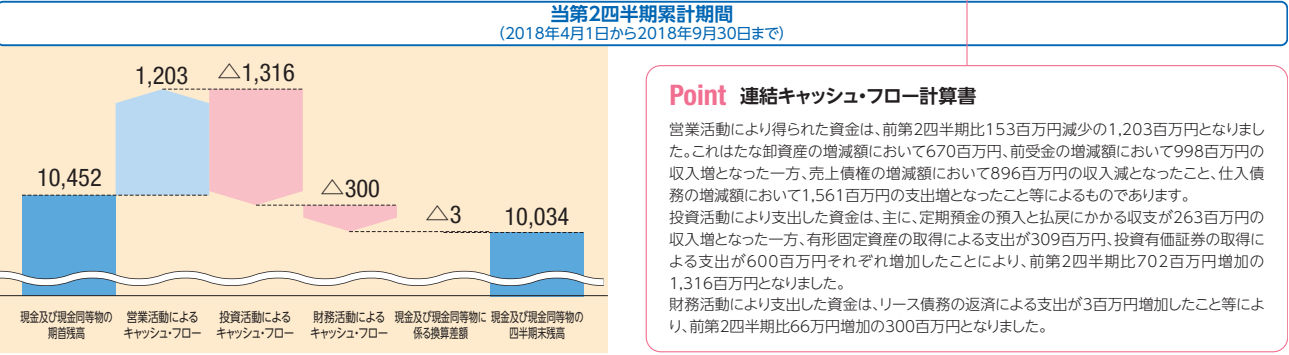
(単位：百万円)



Consolidated Financial Statements

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

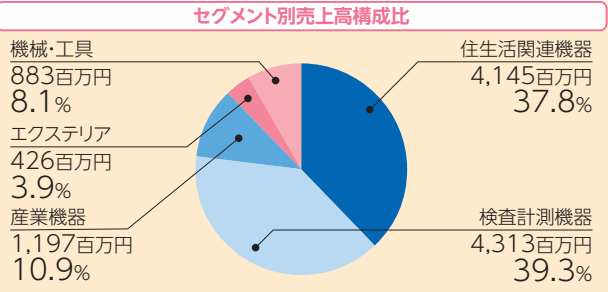
(単位：百万円)



セグメント別概況

(単位：百万円)

	売上高(外部顧客への売上高)			セグメント損益		
	前第2四半期	当第2四半期	増減率	前第2四半期	当第2四半期	増減率
住生活関連機器	3,826	4,145	8.3%	△45	△91	－%
検査計測機器	3,226	4,313	33.7%	126	291	129.8%
産業機器	1,181	1,197	1.3%	175	119	△32.3%
エクステリア	545	426	△21.7%	24	△16	－%
機械・工具	584	883	51.1%	34	41	21.9%
セグメント間取引消去	－	－	－%	△14	15	－%
合 計	9,364	10,967	17.1%	301	359	19.5%





会社概要

商号 タカノ株式会社
本社所在地 長野県上伊那郡宮田村137
創業 1941年7月1日
設立 1953年7月18日
資本金 20億1,590万円
事業内容 事務用椅子、その他椅子等のオフィス家具、ばね、エクステリア製品、エレクトロニクス関連製品、医療・健康福祉機器の製造ならびに販売
従業員数 508名
上場取引所 東京証券取引所市場第一部

グループ会社

- 株式会社ニッコー
住所 長野県上伊那郡宮田村
事業内容 工具・器具機械等の仕入販売
資本金 90百万円
- タカノ機械株式会社
住所 長野県上伊那郡宮田村
事業内容 省力化機械の製造販売
資本金 50百万円
- 台湾鷹野股份有限公司
住所 中華民国台中市
事業内容 検査装置の保守サービス
資本金 20百万新台幣元
- 上海鷹野商貿有限公司
住所 中華人民共和国上海市
事業内容 オフィス椅子等の仕入販売
資本金 50万米ドル
- 香港鷹野国際有限公司
住所 中華人民共和国香港特別行政区
事業内容 エレクトロニクス製品および製品にかかる部品等の仕入・販売(輸出入)
資本金 1百万香港ドル

※上記グループ会社はすべて出資比率100%の子会社です。

役員

代表取締役社長 鷹野 準
専務取締役 鷹野 力
常務取締役 小田切 章
常務取締役 大原 明夫
取締役 久留島 馨
取締役 臼井 俊行
取締役 玉木 昭男
取締役 下島 久志
取締役 植田 康弘
取締役(非常勤) 黒田 康裕
取締役(非常勤) 嘉戸 廣之
取締役(監査等委員) 戸枝 茂夫
社外取締役(監査等委員) 長谷川 洋二
社外取締役(監査等委員) 小澤 輝彦

ホームページのご紹介

タカノでは、株主・投資家のみなさまへのタイムリーな情報提供および双方向の情報交換を目的に、ホームページに会社情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



<http://www.takano-net.co.jp>

インフォメーション

株主優待制度のご案内

2018年度の株主優待は、2018年9月30日現在の株主のみなさまを対象として、1,000株以上所有の株主のみなさまへは下記の6点の商品のなかから1点お選びいただき贈呈いたします。なお、商品は12月中旬*までに発送する予定です。
100株以上1,000株未満所有の株主のみなさまへは、12月上旬に当社で販売している「高嶺ルビーはちみつラスクセット」をお送りいたします。

※「旬の時期」にお送りするため「りんご」「長いも」は発送時期が前後することがございます。



A.ワイン・ウイスキーのセット



B.信州りんご



C.野沢菜漬け



D.信州の長いも



E.信州富士見高原ハム・ソーセージ



F.信州そば



●株式・株主の総数

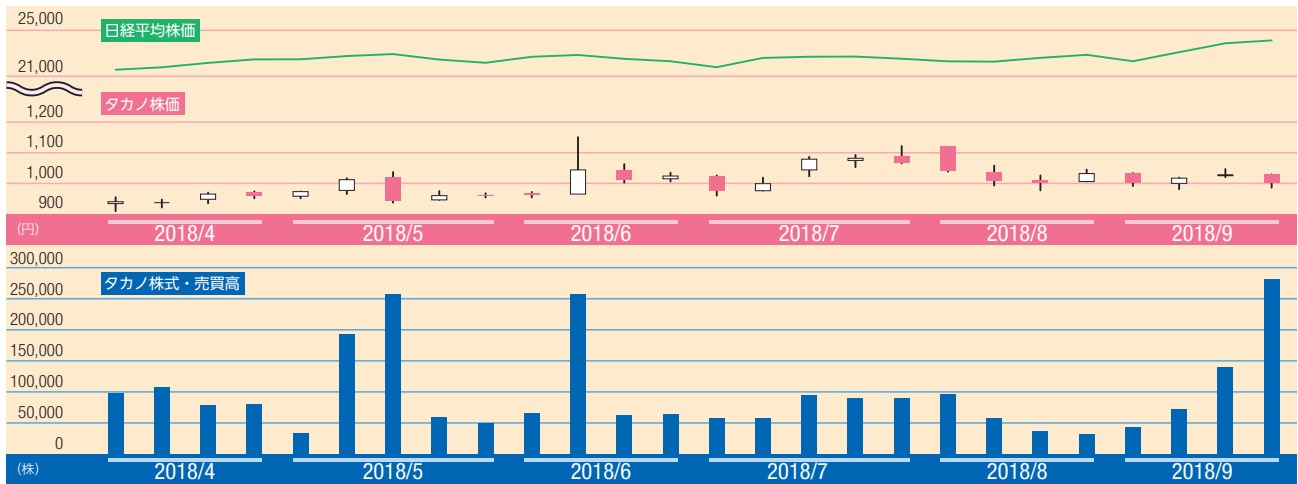
発行可能株式総数 50,000,000株
発行済株式総数 15,721,000株
株主数 7,051名

●大株主

株主名	持株数	持株比率
コクヨ株式会社	2,151,500株	14.15%
日本発条株式会社	2,151,500株	14.15%
堀井 朝運	1,487,400株	9.78%
株式会社鷹山	955,700株	6.28%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	677,300株	4.45%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	489,300株	3.21%
鷹野 力	402,500株	2.64%
鷹野 準	394,000株	2.59%
一般財団法人鷹野学術振興財団	330,000株	2.17%
株式会社八十二銀行	283,900株	1.86%

※当社は、自己株式を524,811株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
※日本発条株式会社の持株数には、同社が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式1,000,000株を含んでおります。

●株価の推移



●所有者別株式の分布状況

